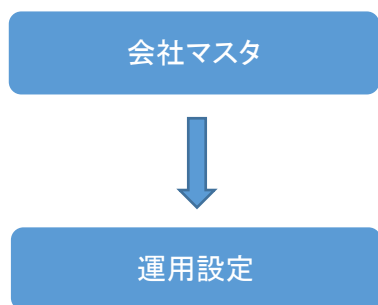


システム開始に必要なマスタ種類とマスタ構築の流れを説明します。
 設定、登録は以下の流れで進めるとスムーズにスタートできます。
 全ての登録が必須ではありません。導入時は不要と思われるものはスキップして進んでください。
 各画面の操作方法や説明は、各処理ごとのマニュアルを参照してください。

■ 導入設定



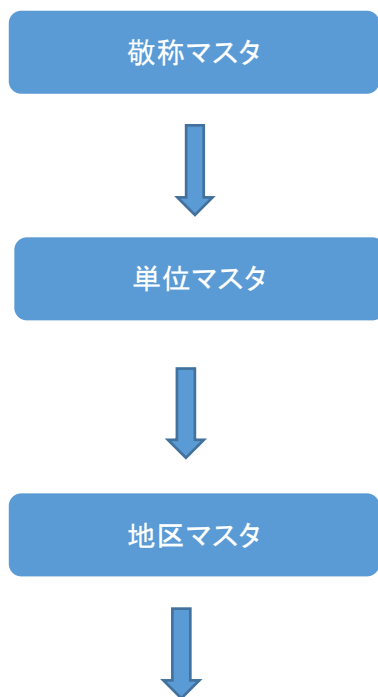
【登録方法】

「システム管理」タブ→「会社登録」ボタン

「システム管理」タブ→「運用設定」ボタン

■ 補助マスタ

補助マスタは複数ありますが、どれから登録しても問題ありません。
 ただし、主要マスタ登録の前に補助マスタを整備、登録されることをお勧めします。



「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
 →表示された画面上部で「敬称」ボタン押下して登録

「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
 →表示された画面上部で「単位」ボタン押下して登録

「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
 →表示された画面上部で「地区」ボタン押下して登録

【概要】

お客様の会社情報を登録します。
 情報は各伝票の自社情報として印字されます。
 通常はデータベース納品時に登録済となっていますが、内容に間違いがないかご確認ください。
登録は必須です。

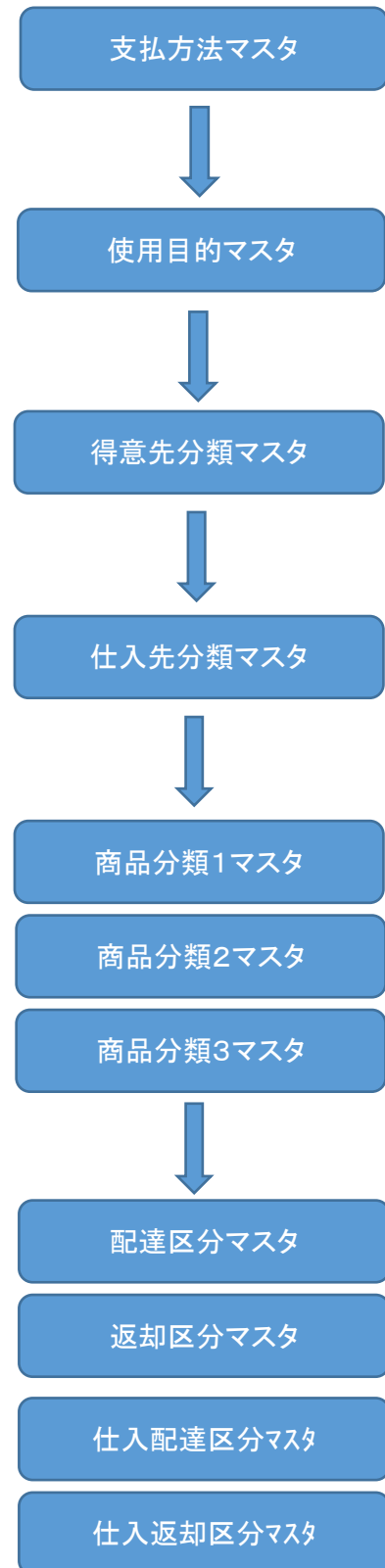
システム全体の設定を行うメニューです。
 必要な箇所のみ設定を行ってください。
 設定のほとんどが運用途中に変更できますので、後から設定しても結構です。

得意先や仕入先などで指定する敬称を登録します。
 登録した内容は得意先登録や仕入先登録で選択可となります。
 弊社にて登録済ですが、必要に応じて訂正してください。
登録は必須です。

商品登録などで指定する単位を登録します。
 登録した内容は商品登録や伝票入力画面で選択可となります。
 弊社にて登録済ですが、必要に応じて訂正してください。
 登録は必須ではありません。

得意先登録や伝票入力で指定する分類を登録します。
 地区ごとに担当者を指定しておくと、入出荷予定表作成時に初期表示の運送担当者として採用することができます。(地区への担当者指定は必須ではありません)
 また地区は帳票の抜粋条件や集計条件で使用できます。
 登録した内容は得意先登録や伝票入力画面で選択可となります。
 必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

■ 補助マスタ



【登録方法】

- 「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
→表示された画面上部で「支払方法」ボタン押下して登録
- 「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
→表示された画面上部で「使用目的」ボタン押下して登録
- 「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
→表示された画面上部で「得意先分類」ボタン押下して登録
- 「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
→表示された画面上部で「仕入先分類」ボタン押下して登録
- 「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
→表示された画面上部で
- 「マスタ管理」タブ→「補助分類登録」ボタン
→表示された画面上部で各区分のボタン押下して登録

【概要】

- 見積受注入力で指定する支払方法を登録します。
登録した内容は見積受注入力画面で選択可となり、選択した内容は見積書や納品書の取引方法欄に印字されます。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。
- 見積受注、売上入力で指定する使用目的を登録します。
登録した内容は画面で選択可となり、選択した内容は見積書や納品書への印字も可能となります。
また、売上分析表では使用目的別に集計もできます。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。
- 得意先登録で指定する分類を登録します。
得意先分類は帳票の抜粋条件や集計条件で使用できます。
登録した内容は得意先登録で選択可となります。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。
- 仕入先登録で指定する分類を登録します。
仕入先分類は帳票の抜粋条件や集計条件で使用できます。
登録した内容は仕入先登録で選択可となります。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。
- 商品登録で指定する分類1～3を登録します。
商品分類1～3は帳票の抜粋条件や集計条件で使用できます。
商品分類1の下に2、2の下に3、という階層構造となっています。
大分類、中分類、小分類というイメージです。
登録した内容は商品登録で選択可となります。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。
- 配達区分、返却区分は受注、売上で使用する区分です。
仕入配達、仕入返却区分は発注、仕入で使用する区分です。
いずれも区分の追加、削除はできず、名称の変更のみできます。
どの区分もコード「2000」の項目は配送や引取という自社運送に関連する項目となりますのでご注意ください。
(「入出荷表」処理で2000は配送、引取と判定されます)
登録した内容は各伝票入力画面で選択可となります。
必要であれば名称変更してください。
登録は必須です。

※補助分類登録画面の「倉庫分類」はどの処理でも使用しておりませんので、登録不要です

■ 主要マスタ

担当者マスタ



倉庫マスタ



口座マスタ



摘要マスタ



回収支払方法マスタ



【登録方法】

「マスタ管理」タブ→「担当者登録」ボタン押下して登録

「マスタ管理」タブ→「倉庫登録」ボタン押下して登録

「マスタ管理」タブ→「口座登録」ボタン押下して登録

「マスタ管理」タブ→「摘要登録」ボタン押下して登録

「マスタ管理」タブ→「回収・支払方法登録」ボタン押下して登録

【概要】

当画面では「事業所」「部課」「担当者」の3つを登録します。
 部課の運用が不要であれば事業所と部課は同じものを登録してください。
 ただし、会計連動オプション導入時で部門別仕訳をする場合、部課の登録は会計の部門と一致させて登録してください。
 担当者には部課、部課には事業所の指定が必須となりますので、事業所一部課一担当者の順で登録、整備してください。
 担当者には、入力担当者や営業担当者など全ての担当者を登録してください。
 ログイン担当者別の機能制限などの設定も可能となります。
登録は必須です

ふくろうレンタルは倉庫別在庫管理を実装しています。
 在庫を管理する単位に必要な倉庫をすべて登録してください。
 倉庫の住所情報の登録は不要です
在庫管理する場合、倉庫登録は必須です

入金や支払入力で使用する口座を登録します。
 登録した口座は得意先や仕入先でも指定可となり、入金入力や支払入力の振込処理で初期表示されます。
 会計連動オプション導入時は口座情報は仕訳処理にも関係します。
 必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

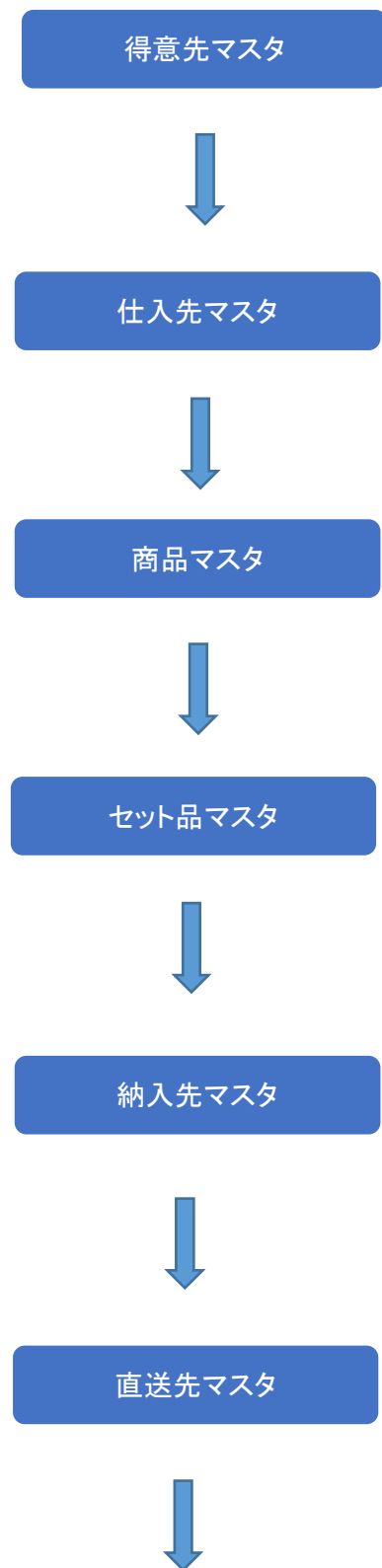
各伝票入力で使用する定型文の摘要があれば登録します。
 登録した摘要は各伝票入力画面で選択可となります。
 伝票入力画面で選択した摘要は、各伝票に印字されます。
 必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

得意先、仕入先登録で選択する回収、支払方法を登録します。
 登録した内容は得意先、仕入先の両方で共通で使用されます。
 指定した回収方法に応じて、請求締切時に回収予定データが作成されます。

翌月末振込や当月末現金など、必要な回収・支払条件を全て登録してください。
 サンプルでいくつかの条件は登録済ですので必要に応じて、訂正、削除、追加してください。

登録は必須です

■ 主要マスタ



【登録方法】

- ① 「マスタ管理」タブ→「得意先登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「得意先マスタ」を選択してインポート

- ① 「マスタ管理」タブ→「仕入先登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「仕入先マスタ」を選択してインポート

- ① 「マスタ管理」タブ→「商品登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「商品マスタ」を選択してインポート

「マスタ管理」タブ→「セット品登録」ボタン押下して登録

- ① 「マスタ管理」タブ→「納入先登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「納入先マスタ」を選択してインポート

- ① 「マスタ管理」タブ→「直送先登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「直送先マスタ」を選択してインポート

【概要】

受注、売上時に指定する得意先を登録します。
登録は必須です

仕入管理も運用する場合は、発注、仕入時に指定する仕入先を登録します。
仕入管理をする場合は登録は必須です

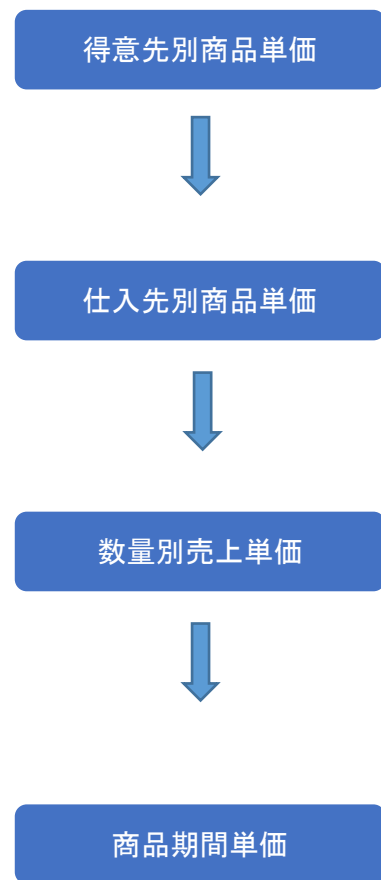
伝票入力時に指定する商品を登録します。
登録は必須です

商品を複数種類セットにして売上、返却する運用がある場合に登録します。
完成品、構成品ともに先に商品マスタに登録しておく必要があります。
完成品は在庫管理対象外の商品のみ指定できます。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

受注、売上時に使用する納入先を登録します。
納入先は見積書や納品書の納入先として印字されます。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

発注、仕入時に使用する直送先を登録します。
直送先は注文書の直送先として印字されます。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

■ 主要マスタ



【登録方法】

- ①「マスタ管理」タブ→「得意先別商品単価登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「得意先別商品単価マスタ」を選択してインポート

- ①「マスタ管理」タブ→「仕入先別商品単価登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「仕入先別商品単価マスタ」を選択してインポート

- ①「マスタ管理」タブ→「数量別売上単価登録」ボタン押下して登録
- ② 「マスタ管理」タブ→「マスタインポート」ボタン
→マスタで「数量別売上単価マスタ」を選択してインポート

- 「マスタ管理」タブ→「商品別期間単価登録」ボタン押下して登録

【概要】

商品ごとに設定した単価とは別に、得意先別商品別に単価を登録したい場合は登録してください。
商品ごとの単価より優先されます。
得意先別商品単価はレンタル単価も登録できます。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

商品ごとに設定した仕入単価とは別に、仕入先別商品別に単価を登録したい場合は登録してください。
商品ごとの仕入単価より優先されます。
仕入先別商品単価はレンタル単価には対応しておりません。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

商品ごとに設定した単価とは別に、数量別や納入先別に単価を登録したい場合は登録してください。
運賃など、得意先別納入先別に運賃が異なる場合に登録できます。
登録時は得意先、商品指定は必須となります。
数量別売上単価はレンタル単価には対応しておりません。
必要に応じて登録してください。登録は必須ではありません。

レンタル品のレンタル日数ごとに採用される掛率を登録できます。
商品コード空白で登録すると、全商品共通の日数別の掛率が登録できます。
商品コード指定で登録すると、日数別の掛率か単価が個別登録できます。
(こちらが優先されます)
商品コード空白の期間掛率は登録必須です。

以下のマスタは導入時に必須ではありません。
各マニュアルを参照し、必要に応じて登録してください。

- 予算マスタ

売上分析表で予算、実績対比をする場合に登録が必要となります。
- 印刷用商品コード*

自社の商品コード、品名とことなるコードや品名で伝票類に印字したい売に登録します。
- 商品種別マスタ

レンタルや販売の種別マスタです。
追加や削除は不可で、表示する名称の訂正はできません。

■ その他設定

その他、以下の設定機能があります。
これらの指定は導入時必須ではありませんが、必要に応じて設定してください。

項目スキップ設定



担当者機能制限

【登録方法】

「システム管理」タブ→「項目スキップ設定」ボタン

「システム管理」タブ→「担当者機能制限」ボタン

■ 各種残高登録

請求先残高登録



支払先残高登録



倉庫別商品登録

「システム管理」タブ→「請求先残高登録」ボタン

「システム管理」タブ→「支払先残高登録」ボタン

「システム管理」タブ→「倉庫別商品登録」ボタン

以下のシステム設定は通常は使用しません。作業必要時は担当SEまでご連絡ください。

採番管理登録

消費税率登録

【概要】

各伝票入力画面ごとのエンターキーでのカーソル移動をスキップする設定を行うメニューです。
必要な場合は設定を行ってください。
システム全体が共通設定となりますので、社内で運用ルールを決定してください。
システム管理者の方が設定を行ってください。

担当者ごとの各画面の権限設定ができます。
担当者コード指定なしで設定すると全員共通の設定も可能です。
必要な場合は設定を行ってください。
システム管理者の方が設定を行ってください。

請求先別に、システム開始時の請求残高、売掛残高を登録するメニューです。
本番開始後の初回の請求書発行、売掛残高確認までに登録してください。

支払先別に、システム開始時の支払残高、買掛残高を登録するメニューです。
本番開始後の初回の支払一覧発行、買掛残高確認までに登録してください。

倉庫別商品別に、システム開始時の在庫数量を登録するメニューです。
在庫管理対象の商品で帳簿在庫あるものはすべて登録します。
本番開始後、在庫管理開始するまでに登録してください。